

# ユーザ企業が AWS 認定資格を取得することの意義と効果 (ファミリーマートと QUICK の実例紹介)

土井 洋典

株式会社ファミリーマート  
システム本部 IT基盤部長

小出 淳二

株式会社QUICK  
ITインフラ本部 プリンシパル

# AWS認定資格

## プロフェッショナル

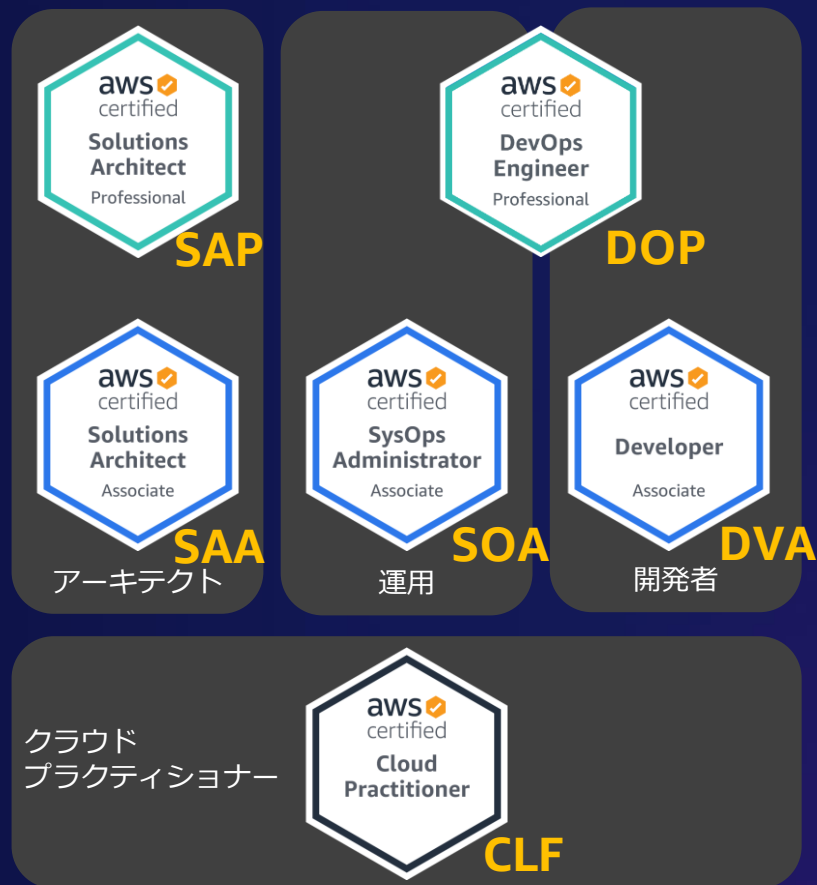
2年間のAWSクラウドを使用したソリューションの設計、運用、およびトラブルシューティングに関する包括的な経験

## アソシエイト

1年間のAWSクラウドを使用した問題解決と解決策の実施における経験

## ベーシック

6か月間の基礎的なAWSクラウドと業界知識



## 専門知識

専門知識分野において、AWSクラウドの技術的な経験



最新の認定試験実施状況は各試験配信プロバイダで確認

- ピアソンVUE - <https://www.pearsonvue.co.jp/coronavirus-update>
- PSI - <https://www.psonline.com/en-gb/openings-jp/>

AWS認定試験はオンラインでも受験可能

- <https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/testing/>



# ユーザ企業が**AWS**認定資格を 取得することの意義と効果

実例：ファミリーマート 土井様

# ファミリーマートにおける AWS認定資格の活用について

1. 会社紹介
2. 自己紹介
3. ファミリーマート クラウド推進組織について
4. スキルアップと認定資格
5. AWS移行と認定資格
6. システム本部のスキルアップの取り組み
7. まとめ
8. 最後に

コーポレートメッセージ：

## あなたと、コンビに、ファミリーマート

社名	株式会社ファミリーマート	
本社所在地	東京都港区芝浦三丁目1番21号	
資本金	16,659百万円	
事業内容	フランチャイズシステムによる コンビニエンスストア事業	
チェーン全店 売上高	2,764,356百万円	(2021年2月期)
従業員数 (連結)	13,070名	(2021年2月末)
店舗数 (国内外エリアフラン チャイズ含む)	24,962店	(2021年3月末)
出店エリア (国内外エリアフラン チャイズ含む)	国内47都道府県、 台湾、タイ、中国、ベトナム、インドネシア、 フィリピン、マレーシア	

### ファミリーマート基本理念



コーポレートメッセージ

あなたと、コンビに、ファミリーマート

私たちが大切にしている3つのこと

地域に寄り添ふ

ファミリーマートは、一軒の小さな商店です。その町に暮らす人々と共に生き、生かされています。地域からずっと必要とされる存在であるように、人や地域に寄り添うことで進化し続ける地域密着を、本気で実現します。

お客さま一人ひとりに

来てくださるお客さま一人ひとりに合わせて、全力を尽くすこと。いつでも欲しいものが揃っているだけでなく、新鮮で驚きのある、買のいいものとの出会いがあること。そして、たとえ用事がないときでも、寄りたくなる場所であることを心がけます。

家族のように

ファミリーマートに囲まれるみんなが、ひとつの商店を切り盛りする家族のようにつながっていきます。同時に、お客さまにとって地域の家族のような存在を目指します。誰もが安心して暮らすために工夫して、この世の中に便利さだけでなく、生きる豊かさがゆきわたるように。「家族」が幸せである未来に貢献します。

## 2. 自己紹介

名前 : 土井 洋典 (どい ひろのり)

所属 : システム本部 IT基盤部

職位 : 部長

経歴 : SIERでアプリケーションエンジニア・プロジェクトリーダを担当  
2012年度ファミリーマート入社。店舗・基幹システムの開発プロジェクトを担当  
2018年度よりクラウド担当  
2019年度よりクラウド推進グループマネジャー  
2022年度よりIT基盤部部長

ミッション : クラウド推進組織のマネジメント

インフラ全体 (クラウド、オンプレ、ネットワーク、セキュリティ) の  
デザイン・プロジェクト推進

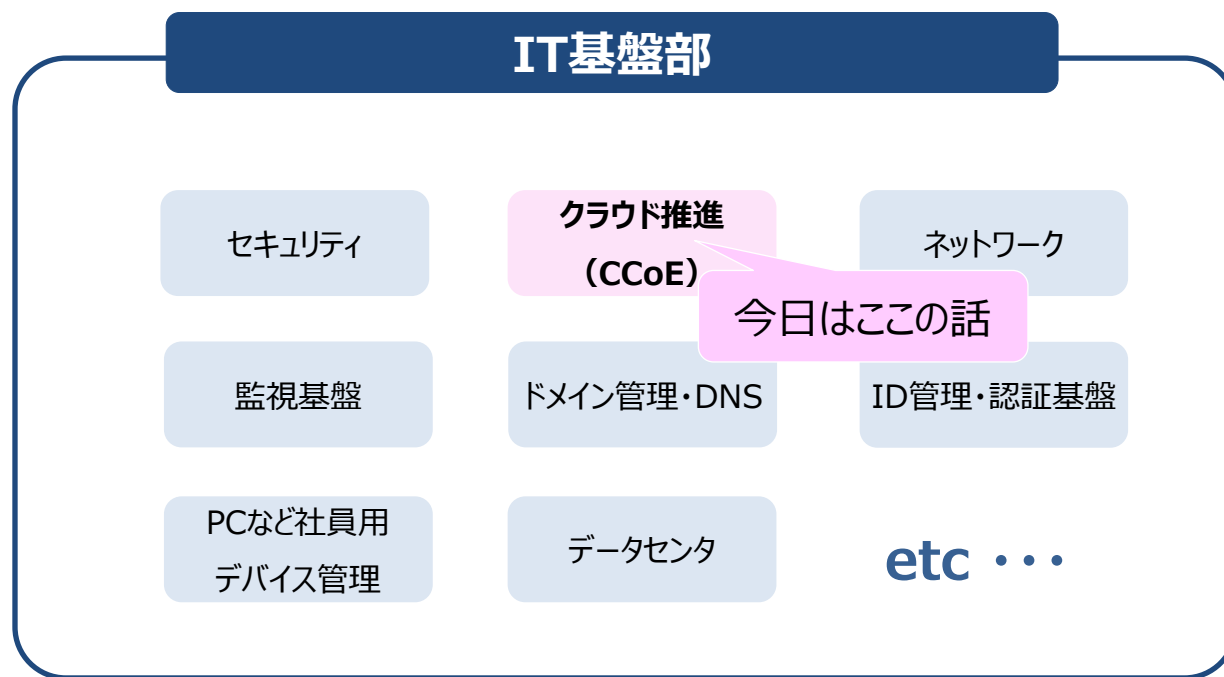
AWS資格 : ・AWS Certified Solutions Architect – Professional  
・AWS Certified Security – Specialty      ・Associate(SAA、SOA、DEV)



## 本セッションの内容

本セッションでは、ファミリーマートのAWSクラウド環境を支えるIT基盤部 クラウド推進組織 (CCoE : Cloud Center of Excellence) の役割と、その中でAWS認定資格がどのように活かされているのかを説明します。

## ファミリーマート IT基盤部の主な役割



ファミリーマートの  
システム・ビジネスを  
支える部門





#### ファミリーマート クラウド推進組織（CCoE）の設立の背景

- オンプレメインの時代は、ファミリーマートはインフラの領域はベンダに任せていた。
- AWS利用を始めるにあたり、ベンダ依存の体制から脱却するという強い意志を持ってクラウド環境の管理は内製で実施することとし、クラウド推進組織を設置した。

#### FM-CCoEの主な役割

ファミリーマートAWSのルール（ガイドライン）の整備や共通的に利用する機能の構築

AWS共通基盤・  
ファミルールの整備

利用者の依頼に応じてAWS環境を構築する（アカウント、VPC、IAMなど）

AWS環境の運用

システム開発のプロジェクトに

アーキテクトとして参画しプロジェクトを支援

アーキテクト

オンプレサーバのEOSLなどの

対応としてAWS移行の推進

クラウド移行

## CCoEメンバーのスキルアップ

CCoEのミッションを遂行するために、技術領域では基本的なIT知識に加えAWSの基本知識と、さらに各AWS領域での専門的な知識が必要となる。

各AWS領域の専門知識はOJTやAWSのSAの支援でカバーできるがAWSの基本知識をそれらの方法でカバーすることは難しく、各自で知識を習得する必要がある。

知識（技術領域）



### 【業務に応じた知識が必要な領域】

- ・AWSソリューションアーキテクトの支援
- ・他のメンバーのOJTによるフォロー
- ・実際に手を動かすことでの習得

### 【体系的な知識が必要な領域】

- ・AWSトレーニング受講による学習
- ・AWS提供のハンズオン
- ・AWS認定資格取得を通じた学習  
資格取得を推進するためには・・・  
→目標に組み込み、達成した場合しっかり評価

### CCoEメンバーのスキルアップ

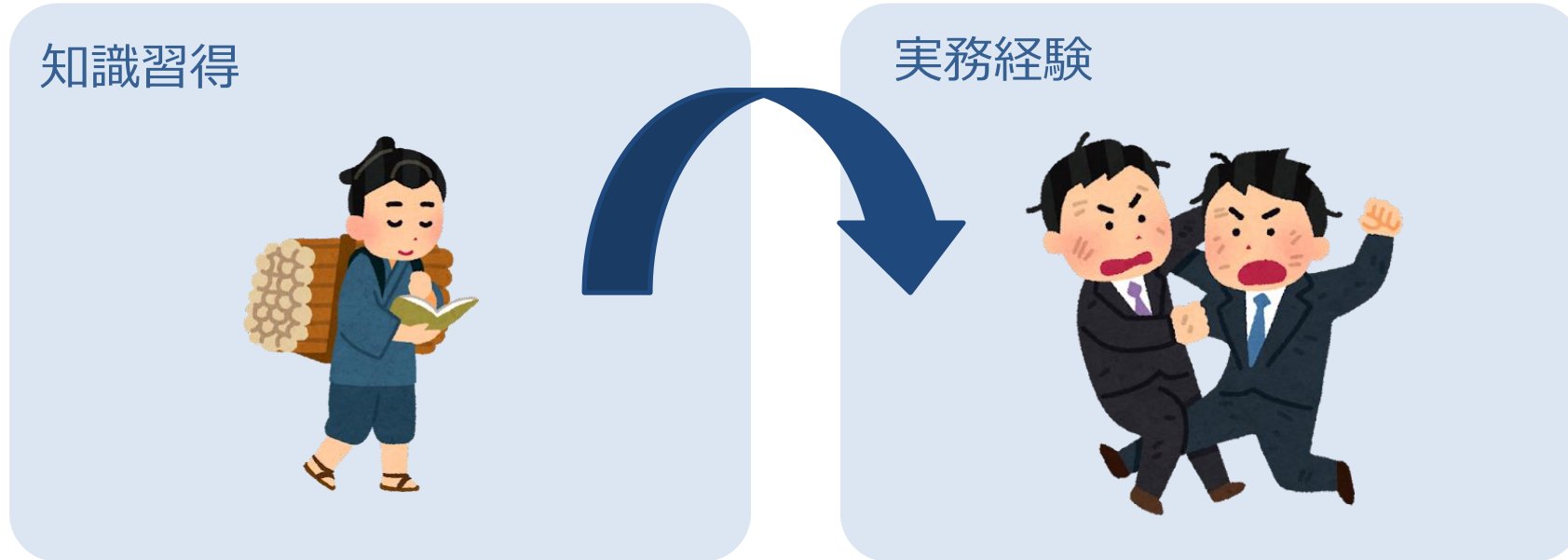
当然、知識だけでは業務はできないため、知識習得と実務経験を繰り返すことが最も大事。  
得た知識を実務で使うことで成長し、さらに知識習得⇒実務経験のサイクルを作っていく。

知識習得



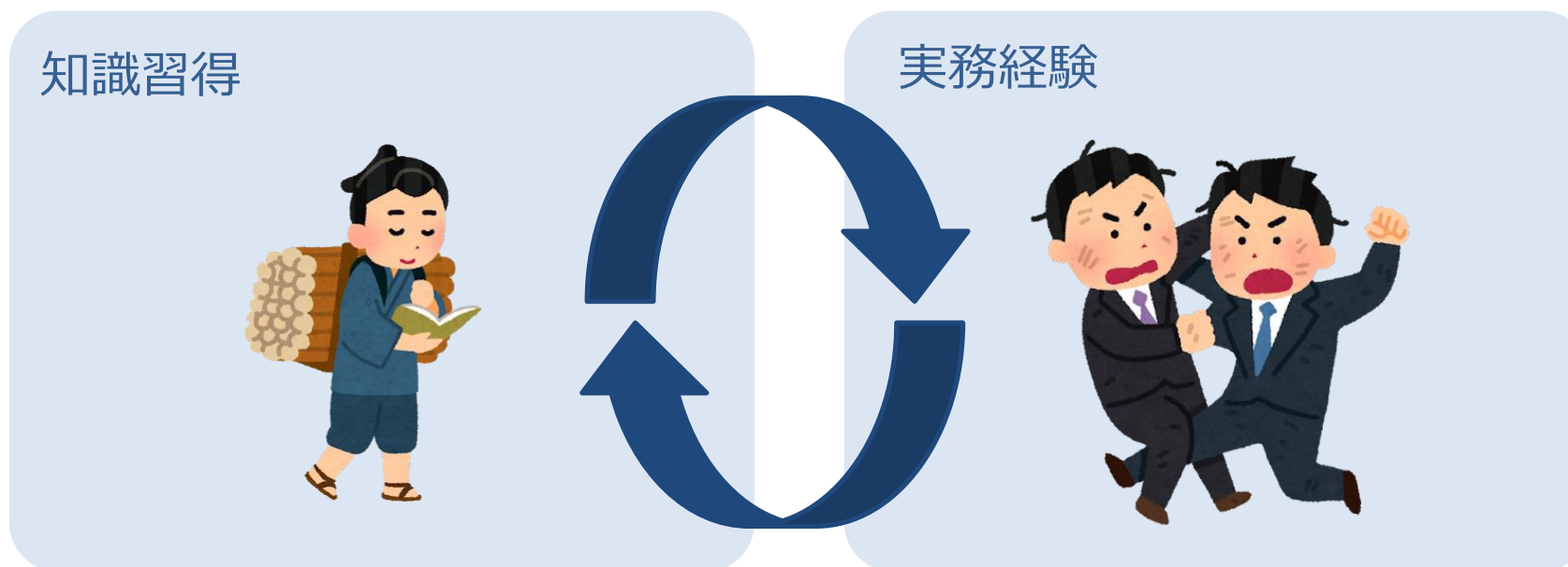
## CCoEメンバのスキルアップ

当然、知識だけでは業務はできないため、知識習得と実務経験を繰り返すことが最も大事。  
得た知識を実務で使うことで成長し、さらに知識習得⇒実務経験のサイクルを作っていく。



## CCoEメンバのスキルアップ

当然、知識だけでは業務はできないため、知識習得と実務経験を繰り返すことが最も大事。  
得た知識を実務で使うことで成長し、さらに知識習得⇒実務経験のサイクルを作っていく。



## CCoEメンバのスキルアップ

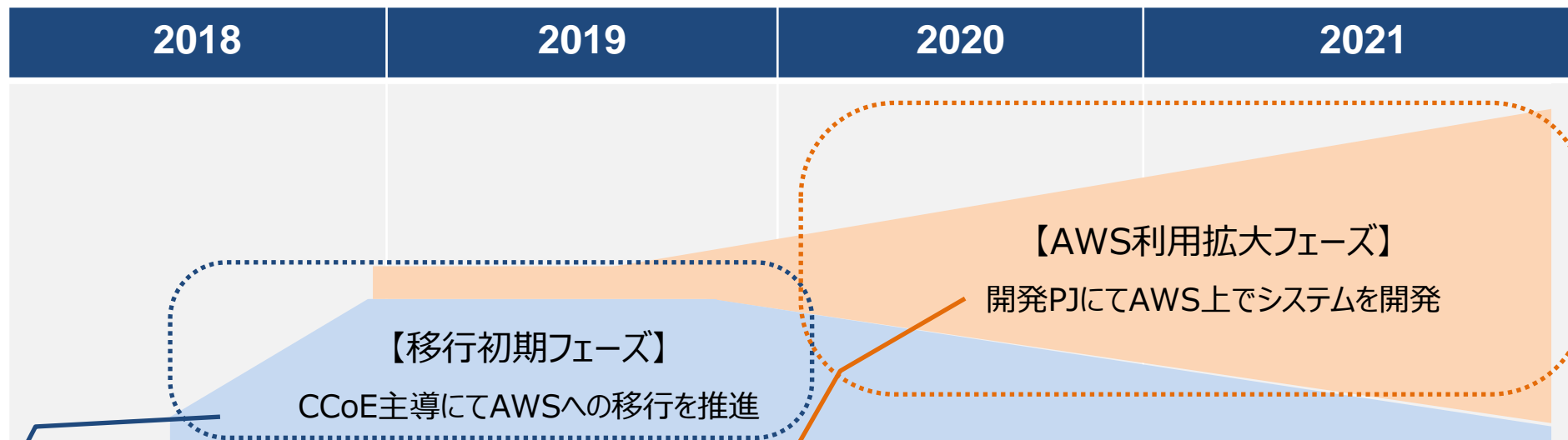
当然、知識だけでは業務はできないため、知識習得と実務経験を繰り返すことが最も大事。  
得た知識を実務で使うことで成長し、さらに知識習得⇒実務経験のサイクルを作っていく。



## ファミリーマートのAWS移行の状況およびCCoEに求められる知識

2018年よりAWS移行を開始し、CCoE主導でAWSに移行するフェーズは収束に近い状況。  
現在は各開発プロジェクトが主体的にAWSを採用し開発を行っているフェーズ。

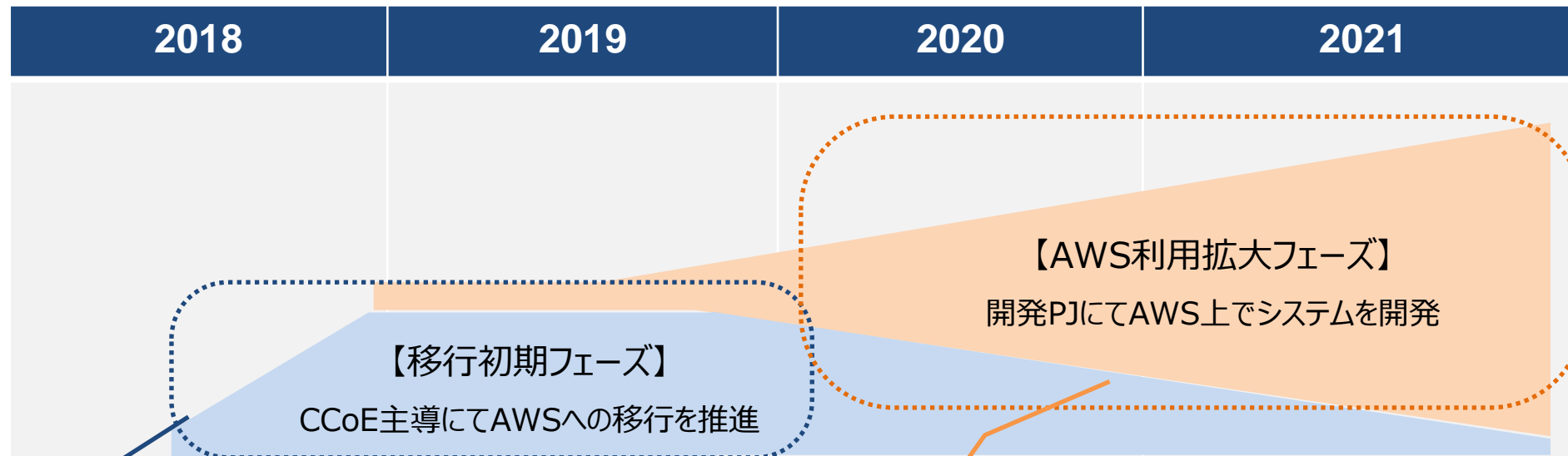
### AWS移行プロジェクト数のイメージ



CCoEはリフト&シフトをメインに主体的にクラウド移行を進めるフェーズ。  
まずはAWSの基礎的な知識が必要になる。

開発プロジェクトでAWSの採用が進み、CCoEはインフラの支援の立場。  
各プロジェクトからは、新サービスに関する問い合わせ、CI/CDなどなど色々なものが持ち込まれる。また、ファミリーマートのセキュリティポリシー的に良いかどうか判断する場面が増えてきており、よりAWSの専門的な知識やセキュリティに関する知識が求められる。

## AWS移行と認定資格取得の状況



CCoEメンバはプロフェッショナル（SAP）、Specialty試験（セキュリティ）も取得しニーズに対応。  
CCoE以外のメンバも積極的に認定資格（プラクティショナー、SAA、DEV）を取得し、  
AWS利用者がレベルアップし、CCoEメンバと共通言語で会話ができるようになっている。

AWSを全体的に理解しておく必要があるため  
CCoEメンバがアソシエイトレベル（SAA、SOA）を取得し  
全体的な知識の底上げを行った。

	AWS認定取得率 (2022・3月時点 社員のみ)
CCoE	83% ※うち、SAP取得は50%
CCoE以外	15%



その他システム本部での認定取得に向けた取り組み（AWS以外のIT資格全般も含む）

### ① 資格取得者に受験費用のキャッシュバック

- ・試験費用の負担を減らすことで認定試験にチャレンジしやすい環境

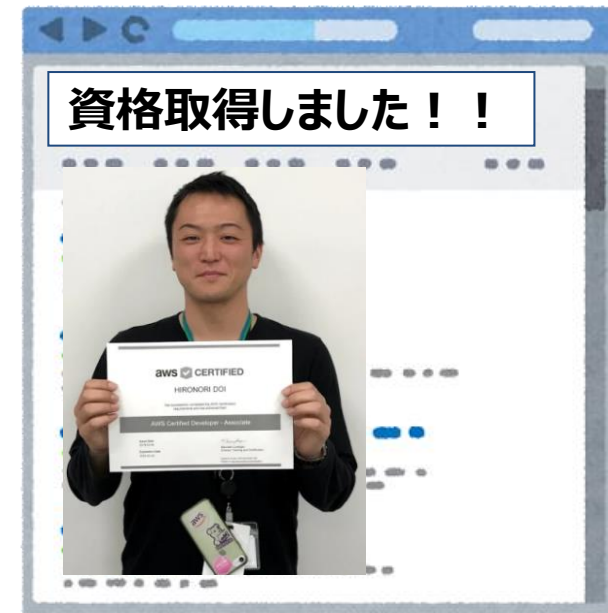
### ② 資格取得者はシステム本部の掲示板に案内

- ・取得をみんなで称えられるような文化に
- ・他メンバーの意欲を高められるような取り組み

### ③ 選抜者向けに社外研修の提供

- ・AWS研修も対象になっており  
初級～上級までスキルに応じて提供

### IT部門向けイントラページ



- AWSの知識を広く身に着きたいのであればAWS認定資格がおすすめ。  
AWS利用の状況や役割に応じてレベルを選択。
- 取得促進のためには目標に設定し、取得したことを評価することが重要。
- 知識を身に付けた後は実践あるのみ。  
実務でわからないものがあれば、振り返って知識習得することによりスキルがあがる。



ファミリーマートCCoEでは一緒に働く仲間を募集しています。

- Enterprise領域でAWSを使った仕事をやってみたい方
- 24/365でサービスを提供しているコンビニエンスストアのシステムインフラを支える仕事に挑戦してみたい方
- AWSの機能を使ったインフラ基盤の提案・構築をやってみたい方

お待ちしております！



- **キャリア採用窓口（ファミリーマートキャリア採用センタ）**

エントリーサイト <https://familymart-recruit.snar.jp/entry.aspx?entryid=5a3673ff-073b-4f23-83a6-325c98909bb5>

採用に関する問い合わせ [fm-career@saiyou-center.jp](mailto:fm-career@saiyou-center.jp)

- **採用に関するCCoEメンバへの問い合わせ先**

[fm-ccoe-inquiry-g@family.co.jp](mailto:fm-ccoe-inquiry-g@family.co.jp)

※応募終了後はクローズさせていただきますのでご了承ください。



# ユーザ企業が**AWS**認定資格を 取得することの意義と効果

実例：**QUICK** 小出様

# AWS内製化を推進するQUICKの挑戦

小出 淳二

株式会社QUICK ITインフラ本部 プリンシパル

# アジェンダ

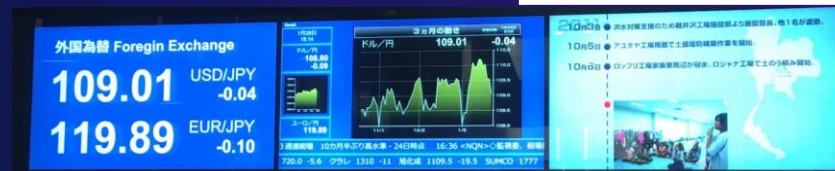
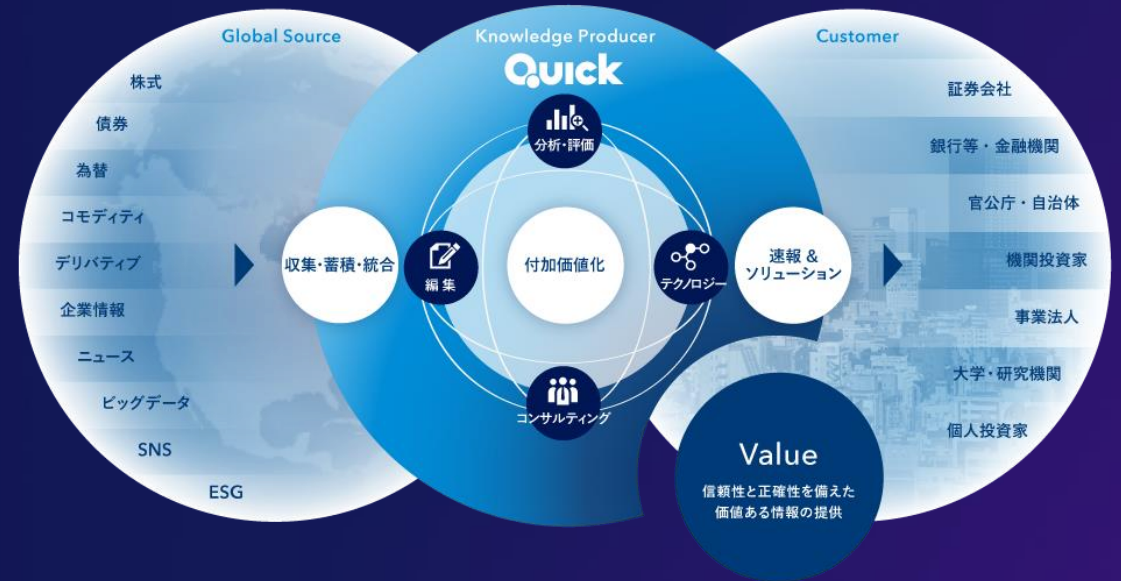
1. 会社概要・自己紹介
2. なぜ内製化なのか？
3. AWS認定12冠取得への道のり
4. ユーザ企業がプロフェッショナル/専門知識認定を取得する価値と意義
5. さまざまな取り組みとチャレンジ
6. 最後にお伝えしたいこと

# 会社紹介

グローバルの金融・経済情報に  
価値を付加して、あらゆるシーンに届けること。

## 会社概要

社名	株式会社QUICK
設立	1971年10月1日
資本金	6億6千万円
代表者	代表取締役社長 高見 信三
従業員数	694人 (2022年3月)
売上高	330億円 (2020年12月)
本社所在地	東京都中央区日本橋兜町7番1号 KABUTO ONE <a href="https://corporate.quick.co.jp/">https://corporate.quick.co.jp/</a>





# 自己紹介

小出 淳二（こいで じゅんじ）



株式会社QUICK

ITインフラ本部 プリンシパル

証券・銀行顧客ネット取引向け情報サービスのAWS移行を担当（EC2 1000台規模）

現在はオンプレミス含む社内IT基盤全体の統括を担当  
システムのクラウドネイティブ化と共に、更なるAWS移行を推進中

E-JAWS コミッティメンバー、Fin-JAWS 運営

re:Invent歴：4回（2015,2016,2017,2019）

AWS認定12冠、情報処理安全確保支援士





# なぜ内製化なのか？

クラウド移行で得られる真の価値は何か？

- ・システムを自分たちでコントロールできる
- ・ビジネスアジリティの獲得
- ・コスト削減
- ・アプリケーションのモダナイゼーション
- ・EOL対応からの解放
- ・セキュリティ・ガバナンスの向上

# なぜ内製化なのか？

クラウド移行で得られる真の価値は何か？

**・システムを自分たちでコントロールできる**

- ・ ビジネスアジリティの獲得
- ・ コスト削減
- ・ アプリケーションのモダナイゼーション
- ・ EOL対応からの解放
- ・ セキュリティ・ガバナンスの向上

# なぜ内製化なのか？

- ・ 現状多くの企業では、ITシステムの開発・構築・運用を外注  
→事業環境の変化への対応スピードが遅い
- ・ ユーザ企業が自社でITの主導権をとることが重要
- ・ Sierからシステムを取り戻す（従来型のSierはDisrupt)
- ・ クラウドこそまさに内製化戦略の要

# なぜ内製化なのか？

- ・クラウド移行のメリットを最大限享受するためには、IT部門の役割が大きく変わる必要がある
- ・IT部門の役割がシステムの安定稼働だけではなく、新しい技術を取り入れ、早いサイクルでシステムを変化させることにシフトしている
- ・会社が必要とするスキルセットも大きく変わってきており、ITエンジニアのスキルセットもシフトが必要
- ・人材不足でクラウドエンジニアは集まらない、来ない  
協力会社も他社案件の増加により、AWS経験を積んだエンジニアを引き揚げてしまう  
→社内にAWSのノウハウが残らない

# なぜ内製化なのか？

自社でクラウドエンジニアを育成し、自社エンジニアで内製するしかない

# なぜ内製化なのか？

内製化を推進するためには？

- ・ 内製化のマイルストーンとして、AWS認定資格を活用  
認定資格取得人数を、内製化度合いを測定するひとつの指標とした  
(2021年末にSAA取得者 60名目標を達成)

# AWS認定12冠取得への道のり

2018年、AWSへの大型移行を控えて、  
自社にクラウドエンジニアがほとんどいない状況

→ まずは自分が技術を磨いて切り開くしかない  
目標をAWS認定全資格取得に設定

# AWS認定12冠取得への道のり

なぜ目標をAWS認定全資格取得に設定したのか？

- まず自分が取得しないと今後のエンジニア育成計画が立てられない  
認定資格の全体像や内容、難易度の理解が計画策定に必要
- まずは自分が会社に風穴を空ける  
(チャレンジしないことには何も始まらない)
- 社外に向けてのアピール  
エンドユーザでも頑張れば12冠取得出来ることを伝えたい



# AWS認定12冠取得への道のり

2017/11～2020/12の約3年で12冠取得達成

名前	認定取得日	有効	更新日	再認定猶予期限
Associate				
AWS Certified Developer - Associate (DVA)	2018-07-14	2018-07-14	2021-09-04	2024-09-04
AWS Certified Solutions Architect - Associate (SAA)	2017-11-23	2017-11-23	2021-08-21	2024-08-21
AWS Certified SysOps Administrator - Associate (SOA)	2018-04-07	2018-04-07	2021-09-04	2024-09-04
Foundational				
AWS Certified Cloud Practitioner (CLF)	2019-02-16	2019-02-16	2021-09-04	2024-09-04
Professional				
AWS Certified DevOps Engineer - Professional (DOP)	2018-09-17	2018-09-17	2021-09-04	2024-09-04
AWS Certified Solutions Architect - Professional (SAP)	2018-09-01	2018-09-01	2021-08-21	2024-08-21
Specialty				
AWS Certified Advanced Networking - Specialty (ANS)	2018-11-03	2018-11-03	2021-09-18	2024-09-18
AWS Certified Alexa Skill Builder - Specialty (Retired) (AXS)	2020-12-05	2020-12-05	該当なし	2023-12-05
AWS Certified Big Data - Specialty (Retired) (BDS)	2019-03-30	2019-03-30	該当なし	2022-03-30
AWS Certified Data Analytics - Specialty (DAS)	2021-12-11	2021-12-11	該当なし	2024-12-11
AWS Certified Database - Specialty (DBS)	2020-09-07	2020-09-07	該当なし	2023-09-07
AWS Certified Machine Learning - Specialty (MLS)	2019-09-07	2019-09-07	該当なし	2022-09-07
AWS Certified Security - Specialty (SCS)	2018-11-17	2018-11-17	2021-09-26	2024-09-26

# AWS認定12冠取得への道のり

## 12冠取得してよかったこと

- 認定資格の全体像や内容、難易度が把握できた
- 自ら自主的に学んだ時間、学ぶ習慣、学びの継続は自分の財産
- やりきった成功体験はいろいろな自信につながる
- 人に必ず覚えてもらえる
- 自己紹介にバッジを12個並べられる

# ユーザ企業がプロフェッショナル/専門知識認定を 取得する意義と価値

12冠取得した私の経験から、

**アソシエイトより、むしろプロフェッショナル/専門知識  
の方が取得の意味がある**

と考えます。

# ユーザ企業がプロフェッショナル/専門知識認定を 取得する意義と価値

- AWSのより専門的な知識のベストプラクティスが体系的に学習できる
- トラブルシューティングが各メンバー自身で完結できるようになる。  
結果としてチームの作業効率UP
- セキュリティ専門知識取得をきっかけに  
セキュリティを常に意識してシステム構成を考える癖がつく

→ **より業務に直結した認定資格**

# ユーザ企業がプロフェッショナル/専門知識認定を 取得する意義と価値

## プロフェッショナル/専門知識 認定取得者の声

- ・ アソシエイトより実用的  
AWSの設計思想、ベストプラクティスに詳しくなれた。  
よくある設計パターンが身についた。
- ・ セキュリティ専門知識は全員必須とっていいほど有用な資格だと感じる。
- ・ SREとして、セキュリティ違反・異常の検知の仕組みの検討、  
構築を行っていますが、  
そのような業務を行う上で勉強した内容が役立つ場面が多いです
- ・ 周りの見る目が変わる

# ユーザ企業がプロフェッショナル/専門知識認定を 取得する意義と価値

これからはユーザ企業もプロフェッショナル/  
専門知識 認定取得が当たり前の時代に

# さまざまな取り組みとチャレンジ

クラウド移行が進むと共に、教育研修部門と連携し、社としての支援策も充実させていった

# さまざまな取り組みとチャレンジ

- ① ・ AWS認定ソリューションアーキテクト・アソシエイト (SAA)
- ・ AWS認定ソリューションアーキテクト・プロフェッショナル (SAP)

に関しては奨励金が支給される公的資格とした  
(受験料は合格時のみ会社負担)

- ・ 上記を資格保持継続費用補助対象資格とし、更新時の受験料も会社負担とした



# さまざまな取り組みとチャレンジ

- ② SAA、SAP以外の認定資格に関しても、  
受験料は合格時のみ会社負担とした

# さまざまな取り組みとチャレンジ

- ③ レベル別に分けた研修メニューを用意
  - ・ 初級（基礎）
  - ・ 中級（アソシエイト）
  - ・ 上級（プロフェッショナル/専門知識）

## 方針

- ・ 初級/中級の研修は2021年から内製化  
2021年度は私が全研修資料をフルスクラッチで作成し講師も担当
- ・ 上級、専門を有償トレーニング（会社負担）でカバー

# さまざまな取り組みとチャレンジ

なぜ初級/中級研修を内製化したのか？

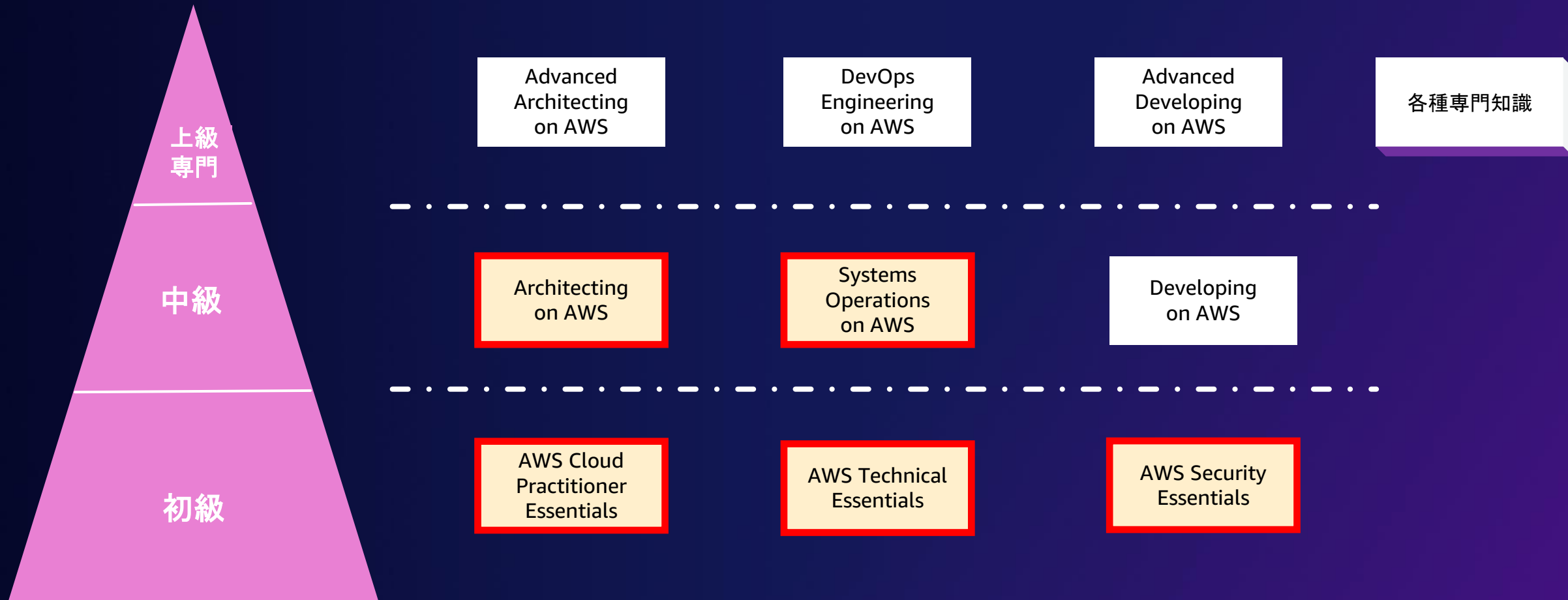
- ・ 2020年は40人程度の人が、AWS公式トレーニングを受講  
(主にAWS Technical Essentials、 Architecting on AWSが中心)
- ・ 一方でSAA取得者からは、より実践的な知識を習得するため  
上級/専門知識の受講要望が出ていた

→ 両方の要望を満たすためには、予算観点からも厳しかったので、  
2021年からは、有償の公式トレーニングを上級/専門知識中心として、  
初級/中級は内製化に踏み切った

# さまざまな取り組みとチャレンジ

トレーニングコースのレベル感

赤枠が研修内製化対象



# さまざまな取り組みとチャレンジ

- ・ 初級研修対象者は全社員
- ・ 技術系社員に関しては、ITスキル標準に従って、期初面談時に目標を設定する
- ・ アソシエイト認定資格（SAA、SOA、DVA）をスキルマップに定義済み

# さまざまな取り組みとチャレンジ

内製トレーニング 2021/5~11



トレーニング内容	開催回数	参加者数
Cloud Practitioner Essentials 相当	1.5h x4	162名
Technical Essentials 1相当	1.5h x4	151名
Technical Essentials 2相当 (ハンズオン)	1.5h x6	92名
Architecting on AWS 相当	1.5h x6	28名
Systems Operations on AWS 相当	1.5h x6	24名

# さまざまな取り組みとチャレンジ

## 外部トレーニング 2021/7~12

トレーニング内容	参加者数
中級 Developing on AWS	6名
上級 Advanced Architecting on AWS	2名
上級 DevOps Engineering on AWS	2名
上級 Advanced Developing on AWS	4名
専門知識 Security Engineering on AWS	1名
専門知識 Planning and Designing databases on AWS	1名
専門知識 The Machine Learning Pipeline on AWS	1名

# さまざまな取り組みとチャレンジ

トレーニングはスタート地点 その後の継続学習が重要

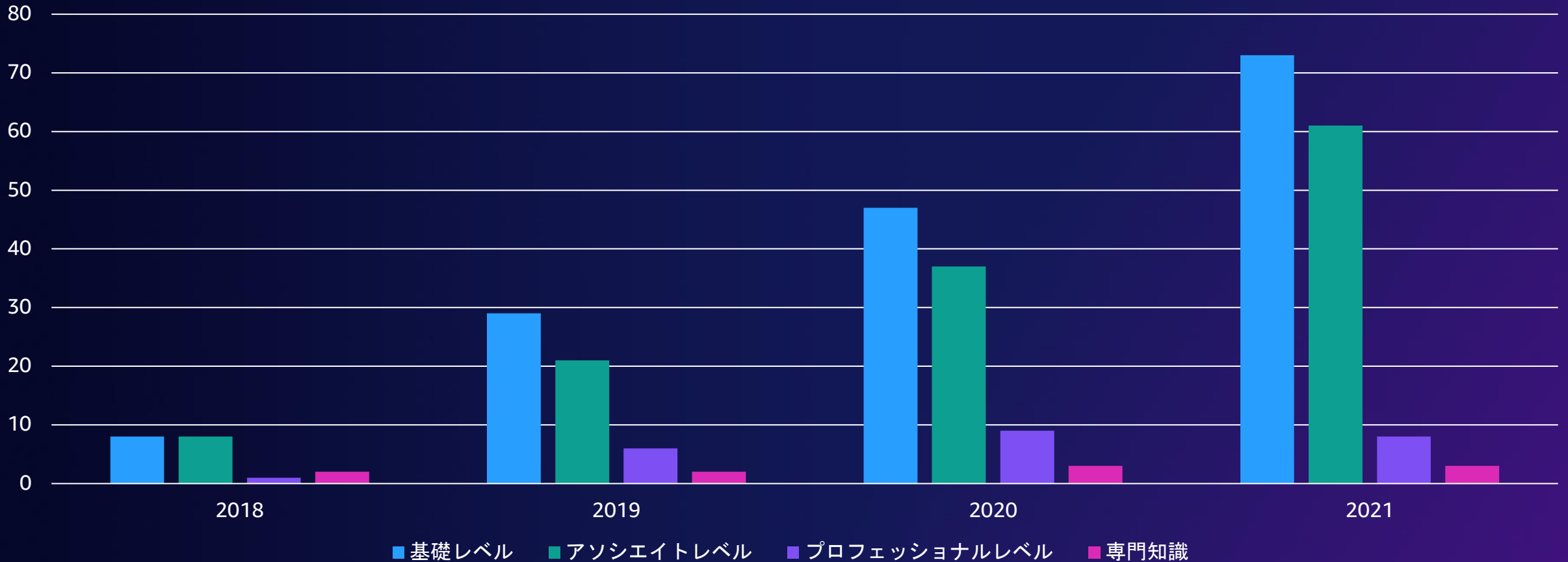
誰でもトレーニング直後はやる気に満ちあふれているが・・・

- ・ 教育研修部門に任せっきりではその後のフォローがない
- ・ **トレーニング後も継続的にフォローし、  
認定資格取得までタイムリーな育成支援を行うことが重要**



# さまざまな取り組みとチャレンジ

社員のAWS認定資格取得状況（人数）



# さまざまな取り組みとチャレンジ

SREチームにおける成功事例（勉強方法等を細かくフォロー）

Tさん 2021/4 ジョイン（CLF、SAA取得済み）

2021/5 SOA取得

2021/7 DVA取得

2021/9 SCS取得

2021/11 DBS取得

2022/1 SAP取得、現在7冠

# さまざまな取り組みとチャレンジ

SREチームにおける成功事例（勉強方法等を細かくフォロー）

Hさん 2021/5 ジョイン（CLF、SAA、DVA取得済み）

2021/5 SOA取得

2021/8 SCS取得

2021/9 DBS取得

2021/12 DOP取得

2022/2 DAS取得、現在8冠

# さまざまな取り組みとチャレンジ

新入社員 Sさん（週次の勉強会を開催しフォロー）

2021/4 入社

2021/5 CLF取得、2021/6 SAA取得、2021/12 SOA取得、

2022/3 DVA取得

- AWSの知識が増えていることを客観的に証明できるので、モチベーションを維持できる
- 自分は飽き性だが、11冠達成という目標があるのでコツコツ頑張ることができている
- 資格勉強は業務に役立っているし、逆に業務が資格勉強に役立っている。毎日が楽しい。

# さまざまな取り組みとチャレンジ

- ④ 専門知識（AI/機械学習）の研修（DeepRacer）も用意
- ・ 活動期間（2022/7～12）
  - ・ DeepRacerリーグ、8月オープン部門の上位10%に入賞
  - ・ 発表会では、実際にコースを設置し実機走行デモを実施
  - ・ 今年も取り組みを継続し、re:Inventへの参加が目標



# 最後にお伝えしたいこと

- ・ 教育・育成は地道な活動だが、必ず将来花開く！
- ・ 教育研修部門がフォローできない領域の育成支援が重要
- ・ 中長期視点での育成を推進する人材が必要
- ・ 推進役が不在なら、可能性を信じて自分がチャレンジしよう

# Thank you!

小出 淳二

Junji.koide@quick.jp

# Learn in-demand AWS Cloud skills



## AWS Skill Builder

Access **500+ free** digital courses and Learning Plans

Explore resources with a variety of skill levels and **16+** languages to meet your learning needs

Deepen your skills with digital learning on demand



Train now



## AWS Certifications

Earn an industry-recognized credential

Receive Foundational, Associate, Professional, and Specialty certifications

Join the **AWS Certified community** and get exclusive benefits



Access **new** exam guides



# Thank you!

土井 洋典

株式会社ファミリーマート  
システム本部 IT基盤部長

小出 淳二

株式会社QUICK  
ITインフラ本部 プリンシパル

